

げんきくんニュース



発行：グリーンコープ生協さが理事会

2024年度 新体制 委員長ご挨拶



組織委員長
片渕千恵

今年度より組織委員会を担当します。
主に、せっけん・環境・平和・脱原発・民衆交易について学習や検討を行います。少しの工夫で地球に優しくできるような学びが増えるように企画を考えていきます。ぜひ参加してくださいね！



おすすめ委員長
野田宏美

今年度から、おすすめ委員会を担当することになりました。
食べる人・使う人(組合員)と、作る人(生産者・メーカー)との繋がりは、グリーンコープの魅力の一つですね。
みなさんにその繋がりをより感じていただけるような企画を開催したいと思いますので、一緒に楽しく学びましょう！



商品委員長
塚本恵子

商品委員会は、グリーンコープのこだわりが詰まった商品情報をお届けしていきます。
私たちのおすすめ商品を、ぜひ試していただき、お気に入りを一つでも増やしてもらえたらうれしいです。まずは、自分たちで試しておいしさや便利さを実感していきたいと思っています。



福祉委員長
佐々木裕紀

生活丸ごと「ふくし」を合言葉に、2024年度福祉委員会は福祉講演会や学習会などを開催していきます。
よろしくお祈りします。



広報担当
増本みずほ

みなさん、初めまして。唐津地区の増本みずほと申します。2024年度から広報を担当をします。
組合員の皆さんから情報をいただきながら、げんきくんニュース等の発行やInstagramの発信などを通して、地域の素敵な活動を広めたり、みなさんの生活に役立つことを楽しく、読みやすくお伝えしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



**福祉活動
組合員基金
運用委員長**

100円基金は地域で協力し支えあう「参加型地域福祉」を实践する団体(個人)の活動を応援するために活用されています。
組合員の皆さんの思いの詰まった基金が大切に活かされるよう委員全員で丁寧に審査に臨みます。

わたしの推し商品

投稿コーナー「げんききゅんとおしゃべり」に寄せられたご意見です！

米ぬかせっけん(固形) ばらの香り♥



薔薇の香りがする商品特有の強い香りではないところが最高です！(組合員 Mさん)

若鶏竜田揚げ♥



時間がない時のお助け一品！
私の秘密のランチメニューです。(組合員 Mさん)

そのままお弁当へからあげ



さが
開発商品です！



お弁当以外にも色々使えて便利！我が家では冷凍庫に常備しています。(組合員 Sさん)

2023年度 「fromネグロス・クリスマスカンパ」のご報告

グリーンコープさがでは139,900円、グリーンコープ全体では5,252,263円ものカンパ金が集まりました！
このカンパ金の半分はAPLA※1を通して海外支援活動に、残りの半分はグリーンコープが民衆交易※2の原点であるネグロスを支援する活動に活かしていきます。皆様のご協力、ありがとうございました！！

※1 APLA(あぷら)：日本を含むアジア各地で「農を軸にした地域自立」をめざす人々どうしが出会い、経験を分かち合い、協働する場をつくり出すことを目的に、2008年に発足した特定非営利活動法人です。

※2 民衆交易：商品の取引をとおして共に支え合う関係を作り出すのが民衆交易。商品を共に生み出し、南(途上国)の人々が生産したものを正当な価格で取引し、北(先進国)の私たちは安心安全な食べものを手に入れることができます。



- グリーンコープとの出会いのきっかけ
- 好きなグリーンコープ商品、おすすめコメント
- やってほしい企画 など、教えてください！

こちらから、
お気軽に♡

Facebookはじめました！(内容は、Instagramと同じです。)
Instagramをされていないお友達に、ご紹介よろしくお願いします。

げんきくんニュース お問合せフォーム

お問合せ、
各種お申込み・応募、
感想、ご意見、
なんでもお寄せください！



←グリーンコープさがSNS
げんきくんニュース カラー版→



2/1 臨時総代会

2月1日に、ゆめぷらっと小城にて臨時総代会を開催し、「カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みについて」という議案が、賛成多数で承認されました。ご協力ありがとうございました。

今さら聞けない？

カーボンニュートラルとは？

地球温暖化を食い止めるため、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量を削減し、排出をゼロにはできないので、排出した分は吸収や除去することで差し引きゼロにするという考え方です。

そして、先日承認された

議案の内容は…

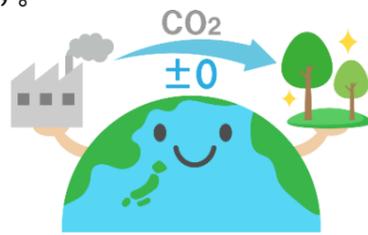
グリーンコープはカーボンニュートラルの実現に向けて様々に取り組んでいきます。

⇒その財源を確保するため、

- 組合員を増やして事業高を増やすこと
- 業務の効率化によって剰余を生み出すこと
- メーカーにも協力を呼び掛けること

に加え、組合員一人ひとりができることとして、

- 同意いただいた組合員から商品代金の1%を拠出いただき、同意されない組合員からは拠出いただかないという提案です。具体的な同意の取り方については、今後検討を重ねていきます。



「生協の三原則」を見ていただくとわかるように、組合員は、利用も運営もする、グリーンコープのオーナーです。だからといって、組合員だけに負担を求めているわけではなく、グリーンコープやメーカーも協力して費用を出し合います。

得られた財源の使い道ですが、カーボンニュートラルの実現に向けて、

- 二酸化炭素を減らすためのドライアイスの削減
- 二酸化炭素の吸収を増やすための森林経営やマングローブ植林
- 二酸化炭素の排出を減らすための電気自動車の導入とそれに伴う充電施設の整備

などが挙げられます。

特に、電気自動車の導入については様々な考えから賛否が分かれるところがありますが、配送担当者の労働環境改善という視点からも、メリットがあることはご理解ください。導入を検討しているEVトラックは、荷台までエアコンの空調が可能で猛暑での作業時の熱中症対策になるほか、荷台が低く、乗り降りの負担が軽減できます。

なぜ今なのか、急がなくていいのではとの意見も寄せられます。世間の動向を見てからではなく、世間より先に取り組み理由は、今温暖化を食い止めないと後戻りできなくなるという危機感です。いつか誰かがやるまで待っているのは取り返しがつかなくなります。これまでも、SDGsという言葉が出回る前から常に環境問題に向き合い、他がやらないことを実践してきたグリーンコープが取り組むことで、社会を動かす大きなうねりを生み出す力になると考えます。

個人では難しいことでも、グリーンコープに関わる人々が協力することでできることがあります。力を合わせて、行動していきましょう。



カーボンニュートラルに向けての取り組みについては、後日4回シリーズで詳しい内容をお届けする予定です。お目通し、よろしくお願ひします。

1/26 福祉委員会が考える居場所「自彊術体験会 & 座談会」

じきょうじゅつ

福祉委員会 主催

2024年最初の、福祉委員会が考える居場所として開催しました！

当日の参加者は24名！と会場はとても賑やかな雰囲気スタートしました。当日、自彊術(じきょうじゅつ)を初めて体験する皆様と、福祉委員も体験にドキドキしながら準備運動を始めました。

地味な動きでもじっくり身体や関節に働きかける動きにより、無理なく日頃の運動不足の解消に繋がり、とても良い時間を過ごせました。

また、その後の座談会では、子育てサポートワーカーズwatageの話や地区組合員総会の話をし、グリーンコープならではの時間を過ごす事が出来ました。組合員外の方からも、「グリーンコープはこういう居心地の良い居場所を作られたりしているのね」というお声も頂きました。

次回は個人的に自彊術の体験に親子で行ってみたいと感じる事が出来る会になりました。今後もぜひ、福祉委員会からお届けする次の居場所へのご参加お待ちしておりますね。

(福祉委員 嶋田由衣)



自彊術インストラクター
柴戸晶子先生



陽当たりの良いお寺でぽかぽか。体をほぐした後は眠たくなりました。



わたしのカーボンニュートラル

loofenという生ごみ乾燥機を使い、生ごみをパラパラに乾燥させて捨てています。

燃えるごみの中でも生ごみが圧倒的な量であり、かつ濡れているもの、というのが、生ごみです。水を燃やすということは燃焼時間もかかります。

我が家は家庭菜園まで取り組めていないため、乾燥させた生ごみを肥料にまで出来ていないので、子供が大きくなり時間に余裕が出れば、生ごみ自体も自分の家に還す、ということをしていきたいです。

(組合員 Mさん)